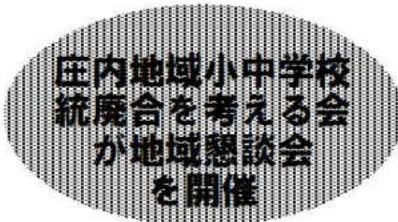


子ども達の豊かな成長・発達の力を  
ために皆で力を合わせよう！

## 決めるのは教育委員会(行政)でない！ 地域住民 保護者、子どもの声をていねいに聞いて！



### 一貫校の先生の話 参考になった！ 「子どもたちを 地域で守らないと！」 小中学校の統廃合には反対！

庄内地域小学校6校・中学校3校を対象とした統廃合計画。全教豊中教組も加わる庄内地域小中学校統廃合を考える会（以下 考える会）が第一回地域懇談会を行いました。

豊中市教育委員会は小中一貫校を「魅力ある学校づくり」として市民や保護者に説明を繰り返しています。考える会は学校統廃合の問題や小中一貫校の問題を知ってもらおうと庄内地域にこの間、土日の3日間に約1万枚の地域にチラシを入れて、地域懇談会への参加を呼びかけました。

10月22日（土）第1回目の地域懇談会を野田センターでおこない31名が集まりました。

池田市で昨年度、統廃合され小中一貫校となったほそごう学園の先生に小学生と中学生が同じ施設で生活をするリアルな実態を語ってもらいました。

その後、質疑や意見の交流を行いました。予定

していた時間を大幅にオーバーするほど、多くの声に参加者から出されました。

子どもの人数が少なくなり、今の現状を何とかしてほしいという保護者の切実な声も出されました。

#### 参加者のアンケートから

○小中学校の統廃合には反対します。小・中学校、各々の統廃合は考えてみてもいいんじゃないでしょうか。いずれにしろ住民の意見をていねいにつくりあげ、豊中市へ物申すことが肝要ではないでしょうか。（庄内西町）

○野田小のPTA総会後の説明会に参加してきました。この時は「もう統廃でほぼ決まりなんやな…」という感じで聞いておりました。しかし、今日懇談会で教員の方からの実際の話を聞いて、「そんなことになってるんや」「とんでもない」「子供達、地域を守らない」と私は豊中市出身ではありませんが、自分が住んでた子供が通う地域の学校、それを守るのは私たち親や地域のものでないといけないんだと改めて思いました。

小中一貫校にこだわらずに小学校はそのまま、中学校は統廃

する…など考えてもいいのではと思いました。（稲津町）

考える会ではFacebookで情報の発信を行っています

考える会では引き続き2会場での地域懇談会を予定しています。

#### 今後の地域懇談会の予定

10月30日（日）

午前9時30分～11時  
庄内市民センター

午後1時30分～3時  
庄本センター

○豊中市教育委員会も「魅力ある学校づくり構想の検討状況説明会」を開催します。

11月5日（土）

午後7時～9時  
ローズ文化ホール

11月6日（日）

午後2時～4時  
庄内公民館3階集會室

11月9日（水）

午後7時～9時  
庄内公民館3階集會室

# インド・ラダックへの道(2)

小曾根小 綱島 典子

まずどっちの方向に行つたらいいのかわからない。表示も地図もない。辺りには市場のように店が立って込んでいて道は狭く、観光客らしき人は皆無。何とかして大きな通りに出たと思つたら、今度は凄まじいクラクションの嵐だ。しかもそれぞれ音の高さが違う。中には何だかよくわからないメロディーになっているものもある。ただ単に「俺車持つてるんだぜ」オラオラ」と自慢をしたくて闇雲に鳴らしてるんじゃないか、インド人。

道端では怪しいおっちゃんが見知らぬパチモンの携帯アクセサリーやらを売っている。誰か買うんだこんなちやっちいもんだと言いつつ物色してみよう。隣には美味しそうな果物屋台。

雨季だから歩道は水たまりでべちよべちよである。そしてその中をデカ

い声でしゃべりながら歩く人、人、人。ああ、頭がくらくらする。あんまりなカオスっぷりだ。

カオスの渦の中、街の中を歩いてみると、リクシャの運転手が「マダム、どこへ行くんだい？ 乗りなよ、安いよ」と声をかけてくる。「いらぬい」と断ると、しばらくゆっくり並走して諦める。しかし数百mも行くとまた次のリクシャが「マダム」と近寄って来る。お、次から次へと湧いてくるぞ。しつこすぎず、いい感じのうざさだ。

さて、旅行者にとつて、街歩きにおけるトイレの存在は重要だ。道端に何ヶ所か公衆トイレの表示があつたので意識して近寄つてみる。しかしなんとそれは、申し訳程度の囲いはあるものの、ただの衝立てに放尿するだけというシロモノだった。世に放たれた液体は、そのまま横の溝を流れている。：これ、囲いつける必要ないんじゃないか？ このようなトイレは世界遺産の壁沿い(！)にも

何ヶ所かあり、現地の人々は結構な頻度で利用していた。そんな訳で、インドの街にはスパイスとアロマニアの匂いが入り混じっている。つまるところ「うるさい、うざい、臭い、オモロイ。」というのが私の半日ほどいたニューデリーの印象なのである。

(続く)



## 「21世紀にふさわしい教育を 「部落問題学習」を考えるQ&A

大阪教育文化センター「部落問題解決と教育」研究会

Q5 部落差別はいつ、どうしてはじまったのですか。

います。

A5 明治以後、江戸時代の身分制が崩れた中で、旧身分を理由に一部の地域が社会的差別をうけていたことがはじまりです。

明治以後、江戸時代の身分制が崩れた中で、旧身分を理由に一部の地域が社会的差別をうけていたことがはじまりです。「賤民」身分の歴史として中世の「河原者」からのつながりを主張する研究者もいます。古代にさかのぼる研究者もいます。幕府が作ったという「政治起源説」や「宗教起源説」を主張する人は少なくなってきました。

同対審答申(1965年)では「この「未解放部落」または「同和関係地区」(以下単に「同和地区」という。)の起源や沿革については、人種的起源説、宗教的起源説、職業的起源説、政治的起源説などの諸説がある。しかし、本審議会は、これら同和地区の起源を学問的に究明することを任務とするものではない。ただ、世人の偏見を打破するためにはつきり断言しておかなければならないのは同和地区の住民は異人種でも異民族でもなく、疑いもなく日本民族、日本国民であるということである。」として

まして個々の地域の成り立ちは分らないことが多いです。いつ頃史料に出てくると言えても、始まりが何か特定できる地域は多くありません。

人権教育と称して小学校で室町時代の河原者の学習に1時間かけるといふ大阪府教育センターの指導計画は子どもたちにまったく歪んだ歴史像を育てるものです